

1. 出来形評価機能

確認項目	機能の有無※1	備考※2
1) 計測点群データを読み込む機能	○※4	
2) 出来形評価のための代表値を算出する機能	○	①②③④⑤⑥⑦
3) 出来形を評価する機能	○	①②③④⑤⑥⑦

2. 出来形管理資料の作成機能

確認項目	機能の有無※1	備考※2
1) 出来形管理資料について、国土交通省国土技術政策総合研究所で公開されている「土木工事共通仕様書」を適用する請負工事に用いる帳票様式に準ずる帳票を作成する機能	○	
2) 出来形管理基準上の計算結果として、平均値、最大値、最小値、データ数、評価面積、棄却点数を算出する機能	○	①②③④⑤⑥⑦
3) 出来形分布図を作成する機能	○	①②③④⑤⑥⑦
4) 出来形管理資料を出力する機能	○	

3. 出来形評価用データの出力機能

確認項目	機能の有無※1	備考※2
1) 算出した出来形評価用データを電子データで出力する機能	○	①②③④⑤⑥⑦

4. 数量算出機能

確認項目	機能の有無※1	備考※3
1) 現況地形や出来形計測結果等（出来形計測データ、起工測量計測データ、岩線計測データ）の面データを読み込む機能	○	
2) 数量算出機能	○	②③④

※1：「機能の有無」とは、実装される機能のうち、機能確認ガイドラインに基づき、正しく算出できることが確認できた機能をいう。

※2：「機能の有無」が「○」である機能の算出方法（下記①～⑩のとおり）。

実在点：①最上値、②最下値、③中央値、④最頻値

グリッドデータ化：⑤差の最頻値、⑥差の平均値、⑦最近隣法、⑧平均法、⑨TIN法、⑩逆距離加重法

※3：「機能の有無」が「○」である機能の算出方法（下記①～④のとおり）。

①点高法：四点平均法、②点高法：1点法、③TIN分割等を用いた求積、④プリズモイダル法

※4： サンプルデータⅠ-①（1.合格点群.csv）は、ファイル拡張子を「.csv」から「.xyz」に変更することで読み込むことができる。

サンプルデータⅡ-①（1.合格点群.csv）は、以下の何れかの方法で読み込むことができる。

①CSVファイルをExcel等で開いて先頭列を削除し、ファイル拡張子を「.xyz」に変更して保存する。

②CSVファイルを測量ポイントとして読み込み、測量ポイントの座標値をカンマ区切りで「.xyz」の拡張子で保存する。